介護部会Ａブロック会議　報告書

実施日 平成26年9月18日（木）　14：00～16；00

会議実施場所 介護老人保健施設　水之尾

参加人数 7施設12人

議事項目 「職員が定着する為の工夫」

内容（議事項目について各参加施設から）

◎A施設

・勉強会、研修会への参加を職員に促し、スキルアップの促進に努めている。しかし勤務上、家庭の事情で参加したくてもできない職員がいるのが課題であり、今後工夫が必要である。

・超過勤務を給与に反映できるように努めている。

・処遇改善を介護職員に給付している。

◎B施設

・勤務表を作成する際、職員の希望休を反映できるようコントロールしている。

・研修会参加は強制ではない。参加率は悪い。

◎C施設

・人間関係で辞職する職員が多い。該当職員の相談を受けたり、勤務表を操作する等している。

・定期的に介護職員との面談を設定している。

・勉強会、外部研修への参加を経て、報告・発表・周知を行い、スキルアップを図る機会を設ける。

・各職員に目標を設定してもらい、短期的に振り返ることでやりがいを持ってもらう。

◎D施設

・希望休の制限はない。（職員同士の連携で設定し、なるべく反映させる。）

・各種委員会（苦情対策委員会など）、勉強会を設置。スキルアップにつなげてもらう。

・各職員に年間目標を短期・長期的に設定し、事務所が評価・査定。また法人としてなにをすべきか考えさせる。（施設内で何ができるか）モチベーションにつなげてもらう。

・入職2・3年の職員に新人職員への教育係、相談員（補助付き）を任せ、スキルアップ、やりがいにつなげてもらう。

◎E施設

・定着率が高い。職員間のコミュニケーションがとれ人間関係も良好。

・近隣の地区からの応募が多く、定着率に反映させていると考えられる。

・入職2・3年の職員に新人指導役を任せる。（チューター制）又、業務の手順書を作成し教えたことの統一を図る。

・勉強会では介護福祉士試験対策の機会を設けるなど、資格取得を促進してる。

◎F施設

・特に工夫している点はなく、工夫してもそれが職員の定着率につながるかわからない。

・近隣に新しい施設が増えて、給与で選び転職。又、資格を取って転職（ステップアップ）するケースが多く見られる。

・職員不足は派遣職員で対応している。

◎G施設

・離職率は高い。

・職員の負担を軽減するために満床にしないなど対策している。

　なるべく超過勤務を給与に反映できるよう、フロア移動など人間関係を良好にする環境を作れるよう努力している。

・勉強会で職員のスキルアップにつなげたいが出席率は低く定着せず。